物流改善によって危機対応能力の向上に貢献

SAGAWA防災支援サービス

SGH | SAGAWA

Grow the new Story.
新しい物流で、新しい社会を、共に育む。

佐川急便の災害支援活動

1995年1月

阪神・淡路大震災

当時戦後最大の大惨事とされたこの時の経験が、
佐川急便の災害支援活動のはじまりとなりました。

2011年3月

国が定める指定公共機関に認定

2013年10月

グループ各社が連携して支援物資を輸送

2016年4月

九州北部豪雨

支援要請元：朝倉市（福岡県）

2017年7月

グループの力を結集し、物資の入荷から保管、配送までサポート

西日本豪雨

支援要請元：三原市（広島県）

避難所へ大量の支援物資を配送（千葉県）

丸森町では避難所へ食料などを配送（宮城県）

房総半島台風
東日本台風

支援要請元：千葉県、宮城県丸森町

ここでも、佐川急便一社だけではなく、専門性を持つグループ各事業会社が合同で対応

近年、頻発化する傾向にある自然災害により、多くの地域で大規模な被害が発生しています。
その中で佐川急便は、大切な社会インフラである物流を支える事業者として、
地域の皆さまの「安心」「安全」に貢献するべく数々の災害支援活動に取り組んできました。

災害支援活動について
まとめた動画を
左の二次元コードから
ご覧いただけます

支援物資輸送の模様

駅を臨時の集積場として活用

物資を積んで走るトラック

ヘリコプターで物資をピストン輸送

東日本大震災

支援要請元：
日本政府の緊急災害対策本部

自衛隊の先導を受け、被災地に向かう当社の救援部隊

支援物資輸送の模様

熊本地震

支援要請元：熊本県、熊本市

全国から集まった支援物資（中央区）

いち早く再開した営業所受取サービス

2018年 7月

自衛隊やボランティアの方々と協力し、支援物資の輸送、保管・管理を実施

能登半島地震

支援要請元：石川県、金沢市、七尾市、能登町、
中能登町、羽咋市、穴水町、珠洲市

支援活動の動画
はこちらから

（台風15号）
（台風19号）

2019年 9月~10月

伊豆山土石流災害

2021年 7月

支援要請元：熱海市（静岡県）

支援活動の動画はこちらから

2024年 1月

数々の災害支援活動を通じて、有事に適切な対応を行うためには事前の防災対策が重要であることが教訓として分かりました。次ページからは佐川急便にできる防災対策についてご紹介させていただきます。

防災対策のお悩みを SAGAWAが解決

倉庫にある備蓄品在庫、
手元のリストが古いから、
現時点での実際の在庫が
分かってないんだよな…

▶ 4ページ ポイント 01 へ

倉庫内に保管している
備蓄品の配置状況、
誰か把握している人は
いるのかな…？

▶ 4ページ ポイント 03 へ

備蓄品倉庫がぐちゃぐちゃ…。
これではいざというときに
使えないから、事前に
整理をしておきたいんだけど…

▶ 4ページ ポイント 02 へ

今まで数々の災害支援に
その**知見を生かした**

備蓄品の管理・保管・運用

物流コンサルティング

SAGAWAがプロ目線の

有事の際に備える「防災対策」について、 こんなお悩みはございませんか？
どれも自治体や企業のご担当者の皆さまにとって、 事前の対応が不可欠な課題ばかりです。
ですが、ご担当とは言え「防災対策の専門家」ではない方がほとんどではないでしょうか。

その課題、実は佐川急便が解決方法を知っているんです。

防災対策って何をすれば
いいのかよく分かっていなくて…。
倉庫や備蓄品、今のままで
準備は足りているのかな…？

▶ 6ページへ

水や食料などの備蓄品、
ずっと倉庫にあるけれど、
賞味期限切れが心配…。
大丈夫かしら…？

▶ 5ページ ポイント 04 へ

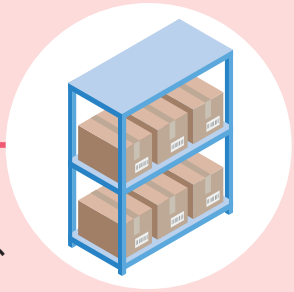
携わってきた佐川急便が
ソリューションを提案

BCP対策

自治体などとの連携

防災対策プランをご案内

防災対策 備蓄品の管理



いざ災害が起こった場合、さまざまな被害が生じることが考えられます。
しっかりと防災対策をしておくことで、有事の際の混乱を少しでも軽減できるよう、
佐川急便が備蓄品に関するお手伝いをさせていただきます。

佐川急便なら備蓄品の管理・保管、さらには運用までサポートできます。

ポイント 01 備蓄品の棚卸

備蓄品の数量が多く、棚卸が大変…とお困りではありませんか？
そういった場合でも、佐川急便が備蓄品の現状把握のため、
お手元のリストと実在庫の照合数量をカウントして報告します。

手間のかかる棚卸を
佐川急便がサポート

ポイント 02 倉庫内の整理整頓

拠点となる倉庫内の備蓄品は、正しく保管されていますか？
佐川急便は、培ってきたノウハウを生かした「荷崩れしにくい・
内容品を把握しやすい積み方」で備蓄品を整理するなど、平時に
おける管理のしやすさに加え、有事に備えた適正配置と適正在庫
を実現します。

例えば…

- 荷崩れしにくい積み方
- 導線・スペース確保
- 簡易清掃

ポイント 03 配置レイアウトの作成

どの備蓄品が、どこに、どれだけ保管されているのか、正確に
把握していますか？
佐川急便では、災害時の拠点となる保管倉庫内のレイアウト図
を作成させていただき、備蓄品の配置状況を可視化。有事の際
に迅速な対応が可能になります。

備蓄品の現状を把握 → 使用頻度の検討 → レイアウトを最適化

ポイント 04 備蓄品の期限管理

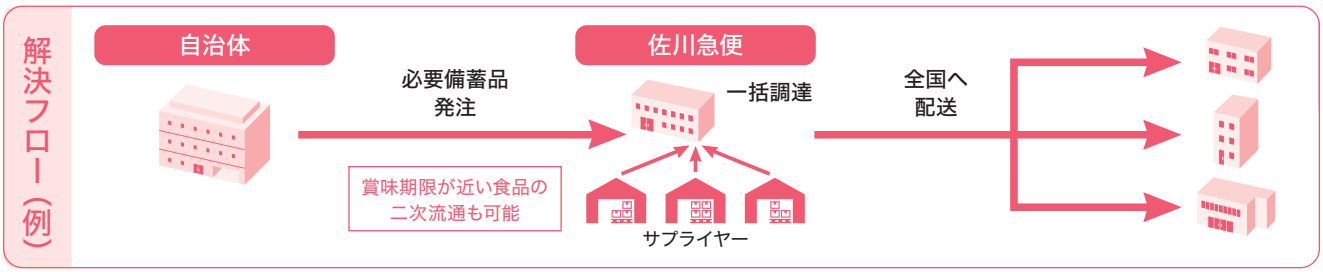
賞味期限、使用期限のある備蓄品をカウントして報告します。
いざというときに期限切れで使用できないケースを避けるため、必要なときに必要な物が使えるよう、事前に期限を把握しておくことが重要です。
佐川急便が、無駄なく効率の良い在庫管理をサポートします。

賞味期限、使用期限を把握 ▶ 適切な在庫管理

ポイント 05 備蓄品の調達

佐川急便では、災害備蓄品の調達・保管・全国配送が可能です。
全国650カ所の税務署や国税局へ備蓄食品やハード品（トイレやヘルメット）を調達し、配送した実績もございます。また、賞味期限間近の備蓄品を寄贈もしくは買取業者に買い取ってもらうなど、備蓄品の再流通支援も可能ですので、ぜひご相談ください。

全国規模の配送ネットワーク



さらに！ 佐川急便ならここまで対応可能です

データ納品

品目ごとの数量・期限データ、倉庫内のレイアウトマップをはじめとした備蓄品管理状況は、データにて納品させていただきます。

物流コンサルティング

物流を支える事業者として佐川急便が培ってきたノウハウを生かし
「防災対策のコンサルティング」として幅広くサポートさせていただきます。

01 物資拠点の現状を分析

拠点診断のポイント

- 物資拠点の分析
- 実際に想定している物資の搬入・搬出路や保管場所の確認
- 運営場所や運営資機材の確認、課題抽出

02 分析に基づく改善案の提示

物資拠点のご提案

立地やアクセスなどの診断に加え、ハザードリスクや施設規模を考慮した拠点診断など、物資拠点に関してトータルでご提案可能です。

倉庫のご提案

保管場所が手狭だったり、利用しにくい場所にある場合、別の保管倉庫をご提案することも可能です。

03 資機材のご提案

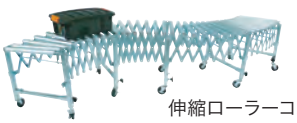
佐川急便では災害支援用のマテハン機器を各種ご用意しています。

●物資の搬入・搬出に役立つ資機材

搬入口に段差があったり、車両が近くに寄れない構造だと、搬入作業は困難となります。

段差がある

段差には、ローラーコンベアを活用することで、負担を軽減できます。



伸縮ローラーコンベア

下記のような物流倉庫を選定することも重要です。

車両が搬入口の近くに寄れない

- 車両をスムーズに着車できる
- フォークリフトで荷役作業を行える

●物資の整理整頓に役立つ資機材

導入前

物資で溢れかえった体育館も…

マテハン機器の活用で整理整頓・スペース確保

導入後

代表的なマテハン機器

輸送台車

パレット

ハンドリフト

ロールボックス

フォークリフト

04 物資輸送訓練の企画・運営・評価

資機材を事前にご用意いただくことで、有事の際の避難所支援にお役立ていただけます。また、実際に訓練などでご使用いただくことで、事前に使用感を確認することも可能です。

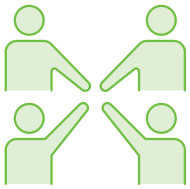
伸縮ローラーコンベアを
使用した物資輸送訓練

05 物資供給に関わるマニュアルの作成

マニュアルを見直すことで、有事の対応を円滑に進めるためのアドバイスが可能です。

例えば…

- **物資供給体制の在り方**



- **支援物資の基本的な流れ**

- **物資拠点運営上の基本的ルール**

佐川急便のコンサルティングをご利用いただくと…

有事の際の実効性向上

平時から継続的に災害に備えた対策を行うことで有事の実効性を高める

現状の課題を可視化

今、何が足りていないかを分析することで課題を抽出し、改善につなげる

物流のプロによる課題解決提案

一般的な目線では見落としがちな課題も、佐川急便の知見を生かして解決へ導く

SAGAWAのBCP対策

東日本大震災の経験を基に、2013年にBCP（事業継続計画）を策定し、BCP関連投資などの対策推進、大規模災害訓練、行政・企業間におけるBC連携の実施など、実効性あるBCM（事業継続マネジメント）の構築・改善活動を進めています。

レジリエンス認証取得

当社は事業継続に積極的に取り組む姿勢が評価され、内閣官房国土強靭化推進室が創設した「レジリエンス認証」を、運輸業・郵便業では第一号として取得しています。

レジリエンス認証
認証・登録番号H0000001

各種訓練

佐川急便では『重要リソースの確保』『情報伝達』『経営判断・指示』を中心とした各種訓練を、全社を挙げて行っています。

協定締結自治体との災害時支援物資輸送訓練

大規模災害対応訓練

エネルギー供給・停電対策

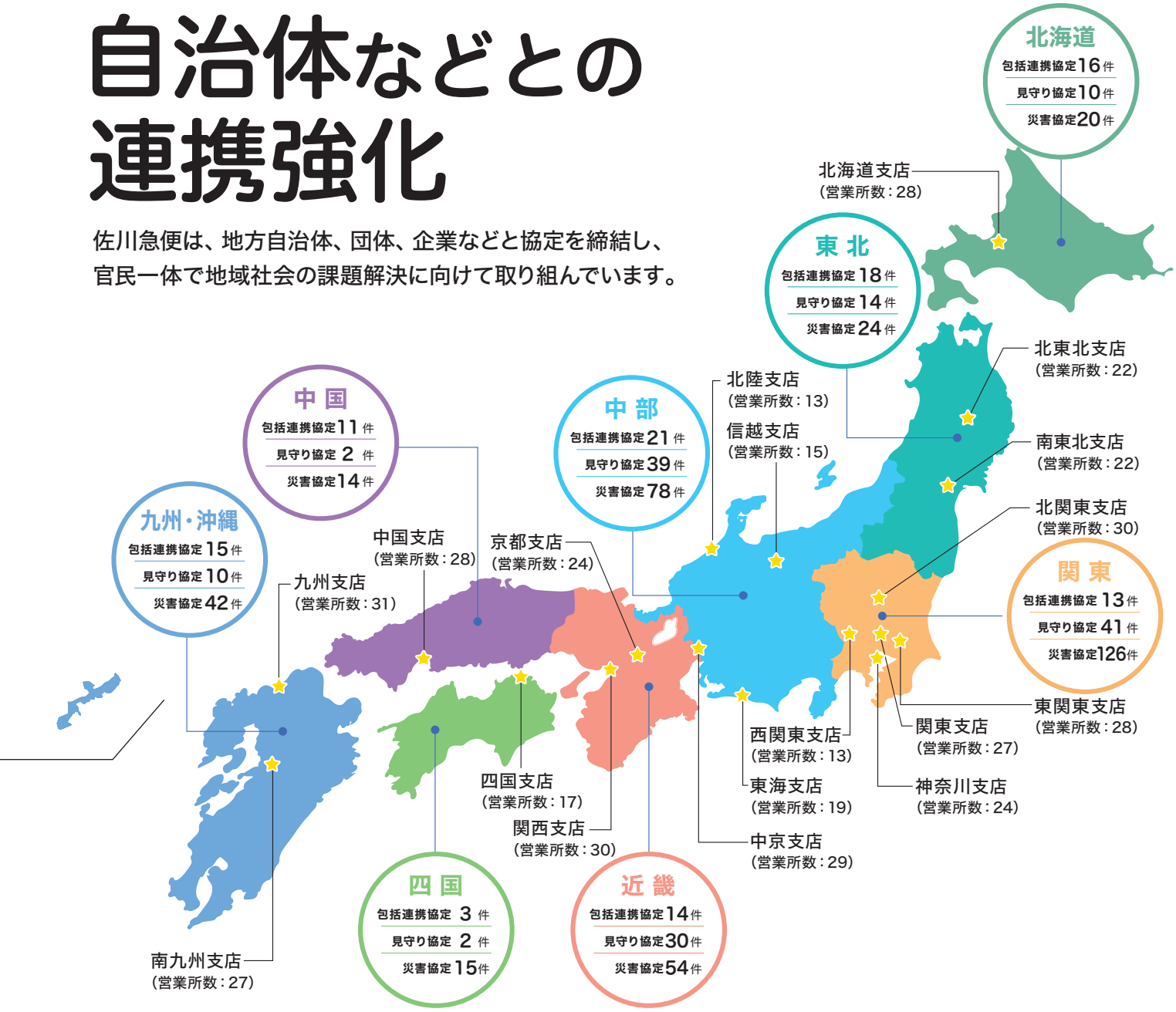
エネルギーの安定的な確保と供給体制維持および停電時の電力確保への備えとして、各種対策を取ることで、物流インフラの強靭化を図っています。

非常用電源車

緊急災害時用燃料油ポンプ（足こぎ式）の導入

自治体などとの連携強化

佐川急便は、地方自治体、団体、企業などと協定を締結し、
官民一体で地域社会の課題解決に向けて取り組んでいます。



佐川急便と各自治体との協定実績

包括連携協定

111件

地域が抱える社会課題に対して、自治体と民間企業などが双方の強み・リソースを生かして協力しながら課題解決に対応するための枠組みです。

見守り協定

148件

地域住民の皆さんが安心して暮らせるように「見守り活動」を行うための協定です。日常業務において高齢者の方などの何らかの異変に気付いた場合に各所と連携して対応します。

災害協定

373件

自治体・行政との災害協定を締結し、地域防災と、災害時における支援物資の輸配送、物資集積拠点の管理・運営、物資の保管・入出荷、コールセンターなどのサポート業務を総合的に行っています。

2024年7月31日時点

SAGAWA防災支援サービスについては
こちらからお問い合わせください

ミックス
紙 | 責任ある森林管理を支えています
FSC® C022337
www.fsc.org

VEGETABLE OIL INK

SIAA
ISO 22196
抗菌加工
無機抗菌剤・印刷表紙部分
JP0122483A0002X

SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

●この印刷物のFSC®ラベルは、
世界の森林資源の責任ある利用を保証します。
●環境対応型インキの植物油インキで印刷しています。

佐川急便株式会社
https://www.sagawa-exp.co.jp/

初版　2024年10月